



天津っ子

~Amatsu with your smile~



真庭市立天津小学校

令和7年度 卒業証書授与式

3月19日(木)、天津小学校の卒業証書授与式が行われ、15名の卒業生が巣立っていました。

卒業証書授与では、一人ひとりが名前を呼ばれると、大きな声で返事をし、壇上に上がり、証書を受け取りました。カメラを設置していたので、保護者の皆さんからもスクリーンで証書を受け取る際の表情等を観ていただくことができました。とても立派に証書を受け取る姿に、子どもたちの成長を改めて感じました。

そして、式の後半は、別れのことばです。初めは、在校生の4・5年生の言葉です。今までお世話になった6年生に感謝の気持ちを精一杯伝えました。当日までに、しっかりと練習をして臨んだ4・5年生の歌や言葉、態度もとても立派でした。

式の最後は、卒業生の呼びかけです。ステージ前のひな壇に上がり、6年間の思い出や自分たちの思いを堂々と、そして、涙ながらに伝えてくれました。6年生の呼びかけや歌が式場の皆さんの心に響き、感動に包まれました。小学校生活のしめくりにふさわしい6年生の姿でした。卒業生の皆さん、今まで、天津小学校を引っ張ってくれてありがとう。中学校にいても、自分らしく輝いてください。





1年間お世話になりました

令和7年度も、今日で終わりとなりました。今年度は、「笑顔でわくわくみんなでつながる天津っ子」のスローガンのもと、「わくわく(主体性)」や「人とのつながり」を大切にしているいろいろな取組を行ってきました。

「わくわく(主体性)」については、いろいろな場面で、子どもたちに任せることを増やしました。昨年度から始めている外遊びを推進する「わいわいランキング」の取組も、各委員会に企画・運営を任せました。それぞれの委員会が、いろいろなアイデアを出して、主体的に取り組んでくれ、外遊びを楽しむ児童が増えてきています。また、総合的な学習においても、子どもたちが具体的なテーマを立て、調べたり、考えたりして学びたいことややりたいことを自分たちで見つけ、挑戦してきました。やはり、自分たちで考えた学びは、意欲をもって取り組むことができ、学びも深まったように思います。

「人とのつながり」については、先ほどの総合的な学習において、「地域の方にインタビューしたい」「地域の方と一緒に〇〇をしたい」「地域の方を楽しませたい」と地域の方とつながる機会をたくさんもつことができました。たくさんの方々に、ご協力いただき、感謝の気持ちでいっぱいの子供たちです。また、児童同士のつながりについては、縦割り班活動を中心として、他学年とつながる機会を増やしました。他学年との活動の後には、手紙等を書き、「ありがとう」を伝え合うことも行いました。この他、1年生が入学したばかりの1学期には、6年生が毎朝、1年生の世話をし、つながりをつくってくれました。そのおかげで、1年生もスムーズに学校生活に慣れていったように思います。

このような取組を通して、少しずつではありますが、子どもたちに「主体性」や「人とつながる力」も育ってきているように思います。今後も、取組の工夫、改善をしながら、子どもたちの成長をしっかり支えていきたいと思えます。保護者、地域の皆様、1年間大変お世話になりました。皆様の支えにより、日々の教育活動を推進していくことができましたこと感謝申し上げます。次年度も、引き続きよろしくお願いいたします。

